

オンラインによる同時双方向型授業について

教育支援センター

同時双方向型授業とは？

- 同時双方向型授業とは教員と学生が同時にオンラインで映像と音声を使った授業の実施方式のこと
- 映像視聴と同時に授業支援システム(WebClass)などのオンラインツールを併用する場合もあり
- 4/9からの第1Qは対面とオンラインの「ハイブリッド形式」で実施予定

講義で使用するWeb会議サービスについて

- 大学としては利用方法が直感的で簡単なZoomを推奨
- Webexを使用する教員もいるため、両方使えるようにしておくことが望ましい

授業支援システム(WebClass)とは

- WebClassは本学で使用されるLMS (Learning Management System)
- WebClassによって授業教材の配布やテストの実施、レポートの提出などをオンラインで行うことが可能
- 本学で開講されるすべての授業が登録されており、オンライン授業を実施する際の基盤となる

授業支援システム(WebClass)とは(続き)

- 履修したい授業は、WebClassの「コース」に入ること
とで、担当教員のメールアドレスやZoomなどのURL、
パスワードが確認できる場合がある
- 「コース」の中から教員へメッセージを送ることも可能
- 使用方法については以下のマニュアルを参照すること

https://www.itc.tcu.ac.jp/service/elearning/webclass_brief_student.pdf

WebClassへのアクセス方法

- ポータルサイトにログイン後、トップページ右上の「リンク集」をクリック → 「■ 授業・学習支援・相談」にある「WebClass」からアクセス
- 以下のリンクからアクセスしてTCUアカウントでログインしても利用可能

<https://webclass.tcu.ac.jp/>

初回授業までの流れの一例 (オンライン参加の場合)

①履修登録前：WebClassにアクセスし、履修したい
科目の「コース」を探し、登録する



「コース」に担当教員からZoomの授業
(ミーティング)IDとパスワードが送られ
てくる

初回授業までの流れの一例(続き)

②初回授業：開講時間になったらZoomにアクセスし授業に参加する(4/9～4/15)



必要に応じてメールやWebClassを通じて担当教員から授業教材の配布がある

③履修登録：オンラインで履修登録をおこなう(4/13～4/15)

WebClassの注意点

- ・ 授業用のコースに登録しても履修登録をしたことには
ならない



授業時間表に記載された方法で、所定の期間内(4/13
~4/15)に忘れずに履修登録をおこなうこと

- ・ 授業開始前~履修登録期間まではすべてのコースに
参加できるが、履修登録期間後は履修登録した講義
のコースにしか参加できなくなる

WebClassを使った研究計画書の提出

①「総合理工学研究科（申請用）」コースにアクセスし、
研究計画書フォームをダウンロード



②同フォームの「研究計画」欄に前期・後期とも入力し、
指導教員へ提出し、「指導計画」欄に所見をもらう



③指導教員に許可を得て、上記コースにて計画書フォー
ムを4/30までに提出(アップロード)

オンラインツールを活用し、学習や研究の
効率を高めましょう